

2023(令和5)年6月22日
第70回国立大学図書館協会総会

GakuNin RDMを活用した 大学間共同作業

海外におけるRDM支援実践事例の日本語化事業

海外におけるRDM支援実践事例の
日本語化事業ワーキンググループ

(発表者 京都大学附属図書館 大前梓)

概要

「海外における研究データ管理(RDM)支援実践事例の日本語化事業」

- ・海外におけるRDM支援の実践例をまとめた単行書を日本語化して紹介
- ・5大学8名の職員からなるWGによって翻訳・編集作業を実施

RDM活動・
ツール活用体験
(GakuNinRDM)

意見交換
・交流
(Slack)

研究データ管理
支援に関する
知識・理解

⇒研究データ管理支援に関する
人材育成・人材交流の機会創出

海外RDM支援実践事例日本語化事業

背景

- ・「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日)
⇒ 研究データ管理・利活用促進の人材の一例として図書館職員に言及
- ・「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」
(令和3年4月27日)
⇒ 大学が取り組むべきこと・具体的なスケジュールの提示
- ・ 研究データ管理支援の概念は浸透してきている一方、具体的な実践事例は僅かであり、多くの大学図書館ではまだ手探りという状態

目的

- ・ 海外の実践事例を翻訳することで研究データ管理支援に対する理解を深める
- ・ 翻訳の成果物を公開することで、国内他大学の研究データ管理支援の検討に寄与する

日本語化対象資料

”Engaging Researchers with Data Management: The Cookbook” (2019)

<https://doi.org/10.11647/OBP.0185>

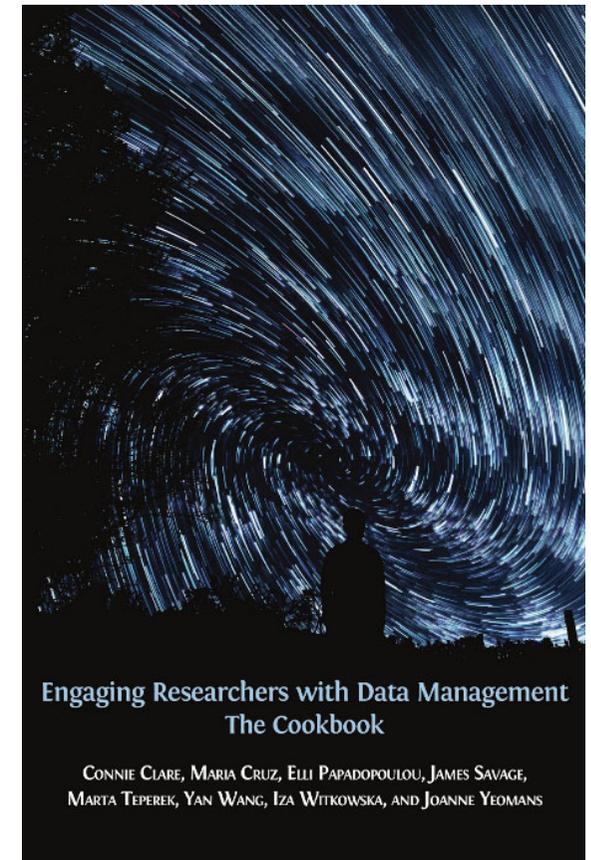
RDA(Research Data Alliance)のLibrary for Research Data Interest Groupによる編纂

海外7か国24件のRDM支援事例を紹介

”小さなアプローチが大きな投資利益をもたらす”

”時間がない？ 資金がない？ それでもデータについて熱心に話し合う研究者コミュニティを築きたい？”

”どこから始めたらいいかわからない？ それなら、データチャンピオンを育成し、今あるサービスを足場にしよう”



成果物(日本語版)

『データ管理で研究者と協力するために： クックブック』

<https://doi.org/10.14989/267606>

(2022(R4)年2月7日公開)



The screenshot shows the website of the Japan Association of National University Libraries (JANUL). The header includes the logo and name of JANUL. Below the header, there are navigation tabs for '概要' (Overview), '事業' (Activities), '委員会' (Committee), '地区協会' (Regional Association), and '会員' (Members). The main content area displays the title '研究データ管理支援に関する海外書籍の日本語化について' (About the Japanese translation of foreign books on research data management support). Below the title, there is a paragraph of text describing the project and the book. At the bottom, there is a link to the digital handle: <http://hdl.handle.net/2433/267606>.



The screenshot shows the Kyoto University Research Information Repository page for the cookbook. The header includes navigation links for 'ホーム' (Home), 'ブラウズ' (Browse), '統計' (Statistics), and 'リンク' (Links). The page title is 'Kyoto University Research Information Repository / 660 図書館機構 / 報告書・マニュアル'. The download count is 842. The permalink is <https://doi.org/10.14989/267606>. The file list shows one file: 'RDM_Cookbook_jpn.pdf' (8.28 MB, Adobe PDF). The title is 'データ管理で研究者と協力するために：クックブック' and the other title is 'Engaging Researchers with Data Management: The Cookbook'. The authors listed are: クレア, コニー; クルス, マリア; ババドプール, エリ; サベジ, ジェームズ; テペレク, マルタ; ワン, イェン; ビトコフスカ, イーザ; ヨーマンズ, ジョアン; and 海外におけるRDM支援実践事例の日本語化事業ワーキンググループ.

効果・展開

参加大学への
WGメンバーの
知見の還元

(例) 神戸大学

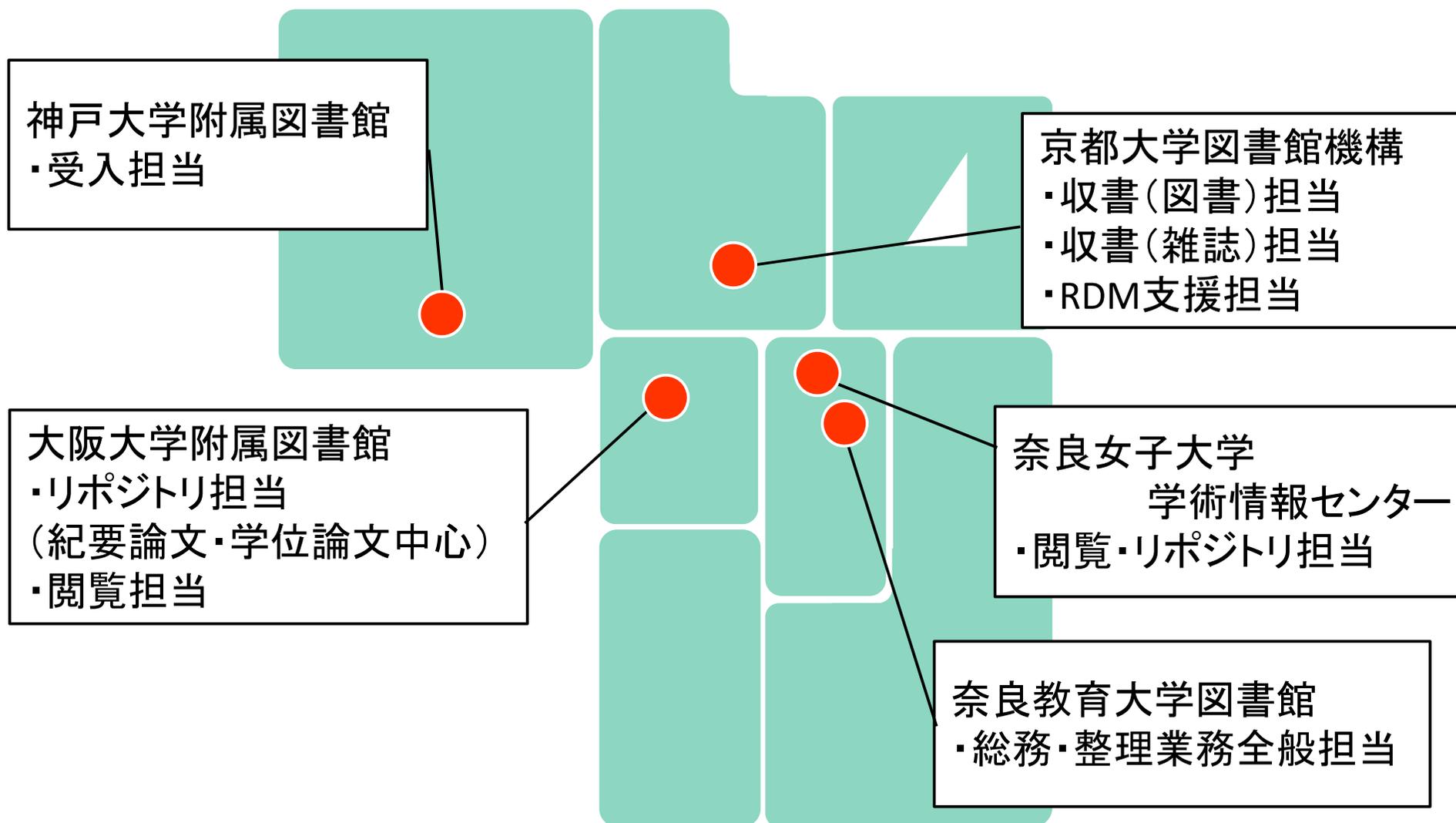
『クックブック』を用いたRDM支援に関する勉強会を実施し、各事例の特徴・課題点・導入の難易度を検討

参考資料と
しての活用

(例) 令和4年度オープンサイエンス小委員会

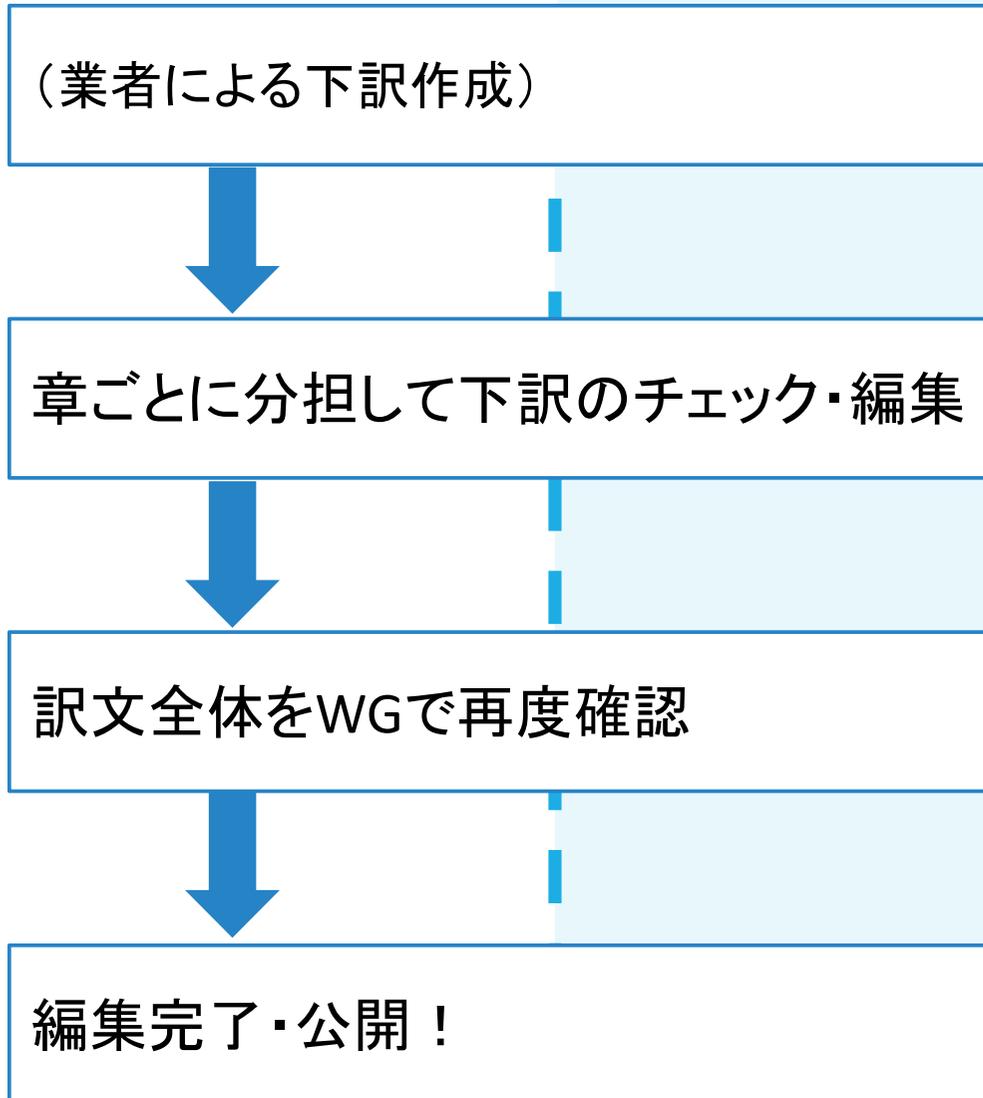
海外先進大学のRDM支援事例調査の対象機関選定にあたり、『クックブック』を参考資料として活用

実施体制



⇒5大学 8名のWGによる共同作業

作業の流れ



(使用ツール)

GakuNin RDM

- 情報共有
- ファイル共有・保管

Slack

- 疑問点や用語の統一について相談・意見交換
- 打ち合わせの日程調整や事務連絡も

GakuNin RDMの活用

The screenshot shows the GakuNin RDM interface. At the top, there's a navigation bar with 'GakuNin RDM', 'マイプロジェクト', '検索', 'サポート', and a user profile '大前梓'. Below this is a secondary navigation bar with '海外における研究データ管理 (RDM) ...', 'ファイル', 'Wiki', 'メンバー', 'アドオン', '設定', and '証跡管理'. The main content area features the project title '海外における研究データ管理 (RDM) 支援実践事例の日本語化事業' and a list of members: 杉田茂樹, 吉田弘子, 藤原由華, 筑木一郎, 長坂和茂, 大前梓, 池松果実, 山下崇純, 佐桑諒, 北澤彩香. It also shows the affiliation '京都大学', creation date '2021-07-12 03:31 PM', and update date '2023-01-10 01:40 PM'. The description states that the project involves translating research data management (RDM) support cases from English to Japanese for use as a reference. The 'Wiki' section is expanded, showing the project title and a section '1. 事業概要' with a brief description and a list of participating institutions: 京都大学図書館機構, 大阪大学附属図書館, 神戸大学附属図書館, 奈良教育大学図書館. The right sidebar contains a '引用' (Citation) section, a 'コンポーネント' (Component) section with a 'プロジェクト事務' (Project Management) component, and a 'タグ' (Tag) section with tags for 'Open Access', 'Open Science', 'RDM', and 'Research Data Management'.

GRDM: 情報・方針の共有

GakuNin RDM

海外における研究データ管理 (RDM) ... ファイル Wiki メンバー アドオン 設定 証跡管理

ホーム

Toggle view: ビュー 編集 比較

海外における研究データ管理 (RDM) 支援実践事例の日本語化事業 実施要領

1. 事業概要

海外の大学および大学図書館における研究データ管理 (RDM) 支援事例について書かれた書籍を日本語化し、事業参画大学のRDM 支援実践への参考とする。成果物はウェブ公開し国内他大学の利用にも供する。

京都大学図書館機構、大阪大学附属図書館、神戸大学附属図書館、奈良教育大学図書館、奈良女子大学学術情報センターの共同事業として実施する。

2. 対象書籍

"Engaging Researchers with Data Management: The Cookbook for Research Data Interest Group"の編纂によるもので、海外公開されており翻訳・公開に支障はない。

参考：研究データ同盟 (RDA)、研究データ管理に関するCookbook Management: The CookbookのPDF版を公開 (カレントアウェアネス・ポータル)

3. すすめかた

- 外部委託により、対象資料の下訳を外部委託により行う
- 事業参加大学の職員によるWGにより翻訳結果の編集を行う
- 成果物をオンライン公開する (京都大学図書館機構のウェブページ)
- 下訳実施および事業にかかる事務は京都大学附属図書館が担当する

4. WGメンバー

Wikiに事業概要や作業の流れ、メンバー一覧を記載

ミーティングで決定した編集方針をwikiへ追記して共有

GakuNin RDM

海外における研究データ管理... ファイル Wiki メンバー アドオン 設定 証跡管理

Toggle view: ビュー 編集 比較

編集方針

Toggle view: ビュー 編集 比較

CookBook編集方針

- すでに翻訳業者による下訳があるので、原文と下訳とを読み比べて編集する。
- 翻訳業者による下訳をもとに、日本語の文章として読みやすい文章に書き直す。
- 主にインタビュー等をまとめた文章なので、直訳というより意味の取りやすい文章、初めてRDM支援の担当者になった大学図書館員等に理解しやすいように編集する。
- 編集している中で疑問点や悩む点、用語の統一の必要が出てきた場合はSLACKで出してもらって、みんなで協議する。
- 出来上がった原稿は、GakuNin RDMの編集用ファイルにアップロードする。(下訳a_担当者名.docx)
- 確認した訳文は11月1日を当面の締め切りとする。
- 文章については、ですます調で統一する。
- 人名の表記については、初出でカタカナ表記に原綴を併記し、以後はカタカナ表記を採用する。
- 参考文献は原文のままとする。
- 図表は、下訳で訳されている部分はそれを活かす。訳されていない部分 (イラストの一部になっているような文字など) はそのまま原文のままとする。

GRDM:ファイルの保管・共有

The screenshot shows the GakuNin RDM interface with the 'ファイル' (Files) tab selected. The main content area displays a list of files and folders under the project '海外における研究データ管理 (RDM) 支援実践事例の日本語化事業'. The list includes folders like 'NII Storage' and '20210922キックオフミーティング', and various document files such as meeting minutes, glossaries, and cookbooks. A callout box on the right highlights specific file types.

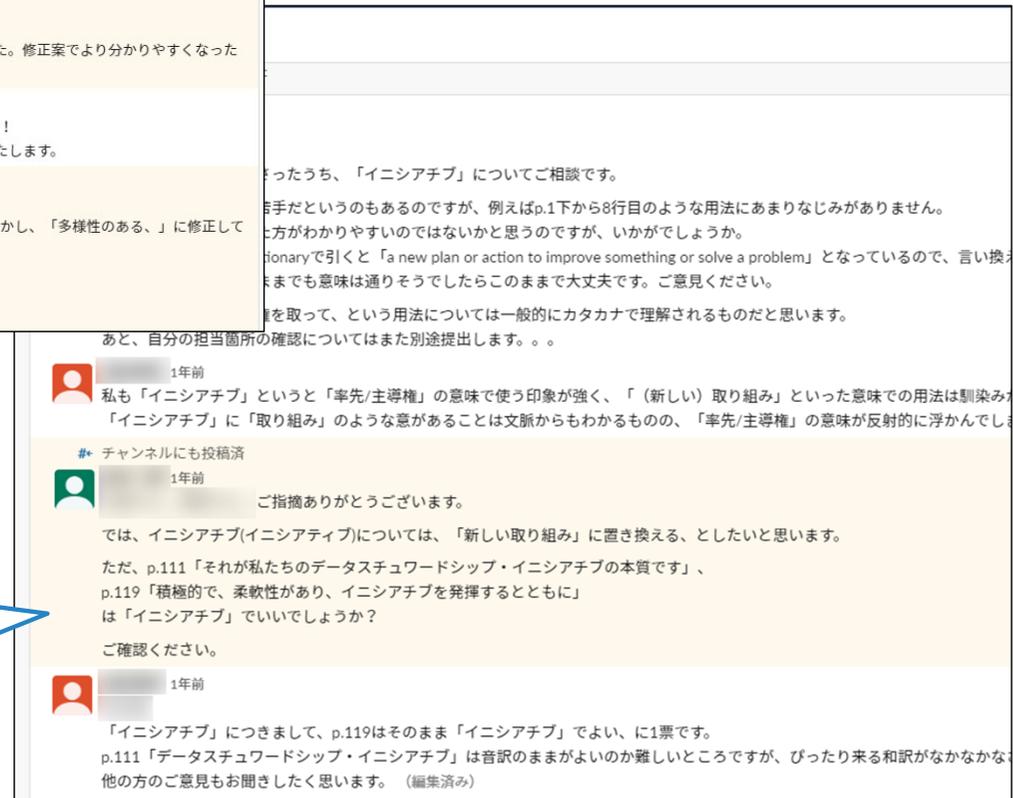
名前	サイズ	バージョン	ダウンロー...	最終更新日時
海外における研究データ管理 (RDM) 支援実践事例の日本語化事業				
- NII Storage				
- 20210922キックオフミーティング				
議事次第_RDM翻訳WG_MTG.docx	23.3 kB	1	0	2021-09-21 10:29 AM
議事要録_RDM事例翻訳WG_MTG.docx	26.3 kB	2	0	2021-09-28 09:13 PM
資料1_海外におけるRDM支援実践事例の日本語化事業WG.docx	18.0 kB	1	0	2021-09-21 10:29 AM
資料2_RDM翻訳担当者表.xlsx	10.0 kB	1	0	2021-09-21 10:29 AM
CookBook日本語版.docx	31.3 MB	2	0	2021-11-30 04:44 PM
CookBook日本語版.pdf	9.3 MB	1	0	2021-11-30 04:52 PM
CookBook日本語版_ver2.docx	31.3 MB	1	0	2022-01-14 02:11 PM
CookBook日本語版_ver2.pdf	7.3 MB	1	0	2022-01-14 02:11 PM
CookBook日本語版_ver3.docx	31.3 MB	1	0	2022-01-14 02:11 PM
CookBook日本語版_ver3.pdf	7.3 MB	1	0	2022-01-14 02:11 PM
CookBook日本語版_完成版.pdf	8.5 MB	1	0	2022-01-14 02:11 PM
RDM実践翻訳用語集_業者翻訳参考資料_20210730.xlsx	9.8 kB	1	0	2021-07-30 10:29 AM
teperék_data_management.pdf	24.5 MB	1	0	2021-11-30 04:52 PM
+ Wiki images				
【下訳】teperék_data_management-j.docx	33.6 MB	1	0	2021-11-30 04:52 PM
+ 編集用ファイル				
- プロジェクト事務				

- ・ミーティング議事メモ
- ・下訳編集の作業ファイル
- ・公開用ファイル
- ・用語集などの参考資料

Slack: 連絡・報告・意見交換



各種連絡や、作業中の
意見交換はSlackで随時



参加メンバーの声

コロナ禍において他大学の職員と交流できる貴重な機会だった

翻訳作業を通じて基礎的な知識や様々な実践例を学べた

はじめてRDM支援の担当になった大学図書館員等が理解しやすいように編集することを目指した意識して取り組んだので、読みやすい文章になっていると思う

どのように翻訳すれば伝わりやすい文章になるか、他のWGメンバーの翻訳がとても参考になった

初めて見るような用語も多く、翻訳作業が大変だったが、海外のRDM事情を国内に発信できることにやりがいを感じた

所属大学で研究データポリシー策定の動きが本格化した際に、この事業で得た知識や情報を図書館以外の関係者にも共有して、理解を深めることができた

特に、クックブックに掲載されているレシピのインフォグラフィックがRDMになじみのないメンバーにも理解の入り口となった

参加メンバーの声 (ツール編)

GakuNin RDMを実際に利用してみたことが同システムの理解に役立った

GakuNinRDMの使用は手探りだったが、良い経験になった。後日、学内で話題が出た時に機能や使用感を伝えることができた

GakuNinRDMは機能確認程度にしか使ったことがなかったので、具体的な作業や保存ファイルがある状態でより実践的に試せたのはよかったと思う

GakuNinRDMとSlackを組み合わせたことで、他大学の方との共同作業がスムーズにできた
研究データ管理や共同研究のサポートを行う際にこの経験が応用できると思う

当時は今と比べて機能が少なかったこともあり、GakuNinRDMをファイル置き場程度にしか活用できなかった
(今ならもっとできることが増えているのかもしれませんが...)